

政和会

坂巻重男

●財政再建について

問 財政再建に向けた市税増収対策として、今後の本市の高齢化社会をかんがみ、退職した方々にこれまでの経験を生かして仕事を起こしていただくために、市長や議員のポーンスをカットして設立支援金を設けてはどうか。

答 その結果、税金をもうらう立場ではなく、納めていただき市税が増収すると考える。

問 本市における起業支援は、創業に対する資金融資制度や利子補給制度がある。また、商工団体や産業支援機関では専門的なノウハウを生かした相談業務などが実施されている。資金的な支援は、国などによる助成制度、本市の制度融資や利子補給制度、民間金融機関や投資家による融資、資金的支援などさまざまな支援策が用意されている。これらの支援策の利用を促しながら連携による支援を強化していく。

●いじめ問題について

問 新たに就任された教育長は教育現場の経験が豊富で、精通している。いじめ問題に対する教育長の意見を伺いたい。

答 子供たちは、トラブルがあったり、相手を傷つけたり、傷つけられながら社会性を身につけたり、価値観を確立して成長する。コミュニケーション能力を高め、トラブルの回避を学び、育っていく。したがって、人格が未完成的な義務教育の段階でいじめを全くなくすというものはあり得ない。そこで、いじめを発生させない環境をつくっていく。

上橋 泉

●人事議案と教育委員の選任

問 人事案件を議会最終日に議会に提出するのはなぜか。仮に何らかの理由でそうしているとしても、教育委員の選任議案までも最終日に議場に出して、ところてん式に採決させるのはおかしい。大津市立中学校のいじめ自殺以来、教育委員の任命がこれだけ議論になっているわけだから、教育委員の任命だけは議会の初日に提出して、委員会に付託すべきではないか。

答 最終日に提出しているのは議会の審議を避けたいという意図ではない。あくまでも人選の都合によるものである。

問 教育委員候補は議会が始まって最終日まで間に人選をしていくのか。

答 長い時間にわたって最終的な調整等も行っている。この2点と関係がある。

問 教育委員候補から議案提出のオーケーが、議会の初日から最終日の間に得られるということか。

答 そういう状況である。

問 教育委員に選任されたときから4年後に任期が切れるのはわかっている。議場に議案として出る半年以上前から教育委員は決まっているのではないか。

答 全員が初日から最終日の間にうやく了承がもらえるのか。

問 過去の件は知らないが、私が市長の場合はそうである。

答 東大・数物連携宇宙研究機構

問 人間には宇宙の神秘の扉を開けてみたいという願望がある。オープンキャンパスには随分人が集まる。これを柏の観光コースにしてはどうか。

答 このようなものをPRしていくことは重要だと思ふ。

市民サイド

松本寛道

●公社、一部事務組合、外郭団体のチェック

問 公社、一部事務組合、外郭団体に基金や剰余金という項目で多額の黒字がためられている。毎年多額の補助金、負担金、委託費が支払われているが是正すべきではないか。

答 内部留保資金が過大になった場合は、各団体の所管部署を通じて負担金などの減額を要望している。今後は所管部署及び各団体の双方に対して、財政支援、人的支援のあり方について見直しを求めるよう促す。

●公共用地取得事業の閉鎖を

問 公共用地取得事業特別会計は既に役割を終えており、速やかに閉鎖すべきではないか。

答 近年は地価が長期的に下落しており、公共用地の先行取得の必要性が低下している。しかし、円滑な事業の推進のために制度としては置いておく必要があると考えている。

●市場会計の過大な繰越金

問 市場会計は予算より決算が2億円も多い。なぜ予算の予測を外し続けるのか。

答 大きな改修工事を控えてきたことで繰越額が徐々に大きくなってきた。繰越金を予備費として計上するか基金として積み立てる方法もあるが、これまで基金を創設してこなかった。財

●貧困の連鎖を断ち切るために

問 マスコミで生活保護の不正受給が多いような報道がされた。不正受給金額は本市では0.64%、全国でも0.38%にすぎない。正確な情報を載せていただきたい。問題は本市がケースワーカーの基準を満たしていないこと。充足率100%の福山市(人口46万人)では保護世帯の子どもの教育支援や居場所づくりなどを直営で行っている。専門性のある職員をふやし、きめ細かい支援をすべきではないか。手厚く人員を配置しなければ

●児童虐待をなくすために

問 深刻なケースがふえ続けているが、職員が不足しているの、担当部が全体を把握できていない、保護者の4割に精神疾患などがあるの、保護者のケアも必要だ。職員が充実している茅ヶ崎市(人口24万人)では虐待予防の講座を開いて成果をあげている。専門性のある職員をふやすべきではないか。

答 必要性は強く認めるが、やりくりの時間がかかる。

●市民公募等が公開審査で

問 アミューゼ柏を「アクティオ・東葉ビル管理・シグマ共同企業体」に5年間、5億円で指定管理させるが、審査は市職員等が非公開で行っている。佐倉市(人口18万人)などのように市民公募も入った審査会で、業者とのヒアリングなどを公開で行うべきではないか。

答 応募団体の権利や地位を害するおそれ、社会的評価を損なわないよう非公開で行っている。

●子育て支援事業の全体像と

問 子育て支援事業のその後は、児童虐待防止対策のその後は、地域子育て・要支援家庭・障害児養育の支援、待機児童解消を重視。児童虐待増加、関連機関連携や研修で個別支援業務の組織力を高め実践評価継続。

●環境未来都市と総合特区

問 先進事業の進捗と展望は、非常時の街区間電力融通と在りハビリティ拠点整備が進行中、市職員が意識し制度活用。

未来会議柏

長瀬慈村

●市職員の働く環境改善

問 昇格選考試験の外部評価、年功制給与見直しの必要性は。

答 人事・給与制度は年功的要素強く問題点として認識、見直して来年度実施に向け協議中。試験は採点一部を外部委託済み。

●安心して暮らすために

問 在宅医療と介護の一体的提供、救急医療の見直し、小児医療の充実、防災対策の進捗は。

答 在宅医療と介護のあり方を

●市民を交えて考え、多職種連携強化中。救急医療は専門性と質と量の拡充を重視、特に二次救急体制を見直す。小児病床は市立病院に期待され基本構想策定中。防災対策は地域対応力、情報連絡・人員配備・物資供給体制を強化、市民を交えて議論し実効性ある防災計画を修正中。

●学校・生涯教育について

問 いじめと防災対策・図書館のあり方・文化とスポーツ振興について新教育長の考え方は。

答 いじめは児童では指導も生徒では犯罪として対応、教師の認知力向上や心のケアも必要、子供の人格向上には見本となる

●歩行者環境の改善と商業の活性化について

問 柏駅南口・国道6号線エリアのまちづくりを総合的に進めていくべきではないか。

答 ばらばらの計画を整理、統合し、計画を策定する。

●手賀地域の活性化について

問 手賀地域の人口増加に向けた取り組みが必要ではないか。

答 優良田園住宅制度を活用し、定住人口増加を図る。住民の声にも耳を傾ける。

●いじめ・教育諸問題について

問 スクールソーシャルワーカーを導入してどうか。

答 必要と考える。県に要望していく。

●保護司との連携を。

問 保護司と連携していく。

答 保護司と連携していく。

●食育について

問 子どもが自分でつくる「弁当の日」の導入を。

答 学校への啓発を検討する。

●生活保護について

問 就労支援相談員を増員し、

●若者の被生活保護者を減らすこととはできないか。

答 就労支援員の支援により生活保護の廃止など実績を上げていく。可能な限り増員する。

●シティーセールスについて

問 本市の強みを市民と共に学び、共にシティーセールスを行う組織を設立してどうか。

答 市民大学とも連携し、組織設立も積極的に検討したい。

●子育て支援について

問 子ども医療費助成の対象を中学3年生までに拡充せよ。

答 県・国に、引き続き働きかけていく。

●文化行政について

問 公立図書館の役割と魅力ある図書館に向けた取り組みを。

答 市民の課題解決型サービスを充実させるなど努めていく。



柏の葉キャンパスを中心とする市全域が総合特区



課題解決型サービスを目指す図書館